

第3回市島地域市立小学校統合準備委員会次第

日時：R3.11.4（木）19:30～

場所：ライフピアいちじま研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 自由討議 『市島地域における小学校統合の在り方について』

4 今後の運営方法について

5 その他

6 次回委員会の日程について

- ・日 時 月 日（ ）19時30分～
- ・場 所

7 閉 会

—MEMO—

A series of horizontal dashed lines for writing.

第2回統合準備委員会 意見まとめ

項 目	意 見
5校→1校	<ul style="list-style-type: none"> ・5校→1校は時間がかかりすぎる。 ・最終的には1校になることを前提に段階的に協議を行うべき。
5校→2校	<ul style="list-style-type: none"> ・「吉見・鴨庄・三輪」が統合した場合、人数が40人近くになるクラスがあり、教室が非常に狭くなることが予想され、学校運営に課題が生じる可能性がある。 ・こども園単位で統合し、幼小連携を図るのが一番理想的だと考えている。
5校→3校	<ul style="list-style-type: none"> ・5校→2校にする際に増築を行っても数年後に空き教室になってしまうのは経済的ではないため、まずは5校→3校の統合が望ましい。 ・男女の偏りが見られる年代もあるため、早期に統合ができる5校→3校が望ましい。 ・三輪小学校だけ後に加わる形で統合する場合、既存のコミュニティの中に入りにくくなることが懸念される。 ・最終的には1校になる前提で過渡的な統合であれば、三輪としては3校の統合は受け入れやすいと思う。 ・三輪だけが統合しない形になるが、他校と連携し、交流を深めるなど学校経営上の努力で対応することも可能である。 ・「吉見小・前山小」「鴨庄小・三輪小」が統合する形もあり得るのではないか。 ・「前山・吉見・鴨庄」が統合する形もあり得るのではないか。 ⇒こども園単位の統合を望む意見が多かったが、その希望には沿えない。 ⇒「鴨庄小・三輪小」の統合は校区が隣接していないため、難しいのではないか。
段階的な統合について	<ul style="list-style-type: none"> ・統合準備委員会を開催している今が市島地域の教育環境を良くする議論を行うチャンスなので、児童が少なくなるのを待って段階的に統合するのではなく、新しい校舎等が整備された素晴らしい学校ができるように、将来の形を考えながら統合を進めるべき。 ・コロナ禍の影響を受け、出生数の減少が丹波市でも予想されるため、5校→1校にすることを前提に協議を行うべき。 ・幼小連携教育と小中一貫教育のどちらを重要と考えるかで今後の議論が変わってくるのではないかと。 ・最終的な統合の形を意識しすぎると統合協議のスピード感がなくなってしまう。 ・将来的に1校になることを見据えて統合を行う場合は校名や校章はそれほどこだわらなくてもよいのではないかと。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・分校制を設けることで、増改築も不要で各小学校を存続させながら少人数を解消できる。 ・各小学校の校舎見学会を開催してはどうか。 ・改修費用のシミュレーションを提示してほしい。 ・校歌や校章も大切だが、まずは小規模校の解消を優先するべき。 ・着地点（将来の形）を決めないと、判断ができない。 ・校舎などハードの議論も大切だが、学級規模や幼小連携などソフト面を重点的に考えないといけない。

統合準備委員会 今後の流れ

